



令和2年度
とやま県産材
建築物コンクール

令和2年度とやま県産材建築物コンクール 概要

目的



県産材の利用の促進に関し、優良な事例の施設の建築主及び設計、施工に関わった者に賞を授与するものであり、県民の県産材利用に対する意識の高揚と、県産材の需要拡大の推進を図ることを目的とする。

応募条件



- 1 平成29年10月30日から令和2年10月30日までに竣工した新築又は造改築された建築物（規模不問）。
【住宅部門】主要用途が住宅（集合住宅、建売住宅を含む）。
【非住宅部門】学校等施設、老人ホーム・福祉ホーム等社会福祉施設、保育園等施設、病院・診療所等施設、体育館・ホール等施設、研修・多目的交流等施設、庁舎・事務所等施設（商業建物施設含む）、保健・保養等施設、その他の施設（展示用住宅、工場建物施設等）
- 2 県産材を使用していること。
- 3 富山県内で建設されたもの。
- 4 建築確認・完了検査等の手続きが必要なものについては、その手続きが済んでいること。
- 5 応募について、建築主及び設計、施工に関わった者の同意を得ていること。

審査方法



住宅部門・非住宅部門ごとに審査し、最優秀賞（富山県知事賞）、優秀賞を選定します。審査は主に以下の視点に基づき行います。

- 1 建築物のデザイン
- 2 建築技術の工夫
- 3 県産材利活用の取組

令和2年度 応募作品数



住宅部門	8件
非住宅部門	11件

住宅部門

最優秀賞 インナーパティオのある家	3
優秀賞 つなぐ家	5
優秀賞 中島のいえ	6
特別賞 吉城寺の家	7



最優秀賞（富山県知事賞）

インナーパティオのある家

所在地 富山市
建築主 個人
設計 荒井 好一郎
施工 分離発注工事（代表施工者 左吉）

【建築概要】

用途 住宅
構造 木造軸組工法 2階建
延床面積 193.19㎡
木材使用量 49.8㎡（県産材21.8㎡）



上／外観。前面へ低く屋根を葺き下ろすことで圧迫感を軽減し、落ち着いた印象。

下／本プロジェクトの中心的存在であるインナーパティオ（中土間）。その名の通り、室内にありながら中庭のような居心地を目指した場所。屋根は県産杉のジョイスト梁（垂木）で構成された小屋吹き抜けで解放感を作り出している。

50代半ばの施主とともに、人生の円熟期そして老年期を豊かに過ごせるような「終の棲家」を模索し完成した、木造でありながら高級上質な空間を感じさせる作品です。構造的欠陥がなくても敬遠されてしまう抜節材や虫食材を「あらわし」としないことで県産材使用量を増やし、意識的に木の見える場所を限定することで木材を美しく見せ、印象的な存在感を感じさせます。積極的に県産材を使おうという意思が感じられ、また高いデザイン性とスマートな木材利用が評価され、最優秀賞に選ばれました。



和室（小上り）から覗くインナーパティオ。庭に面する大きな木製サッシは断熱性・気密性を高めるという温熱性能的な役割とともに、視覚的なぬくもりにより内と外の境界を柔らかに演出する。



上／施工途中風景。桁間に落とし込まれたジョイスト梁で構成される屋根組が構造の特徴。この上に構造用合板を張ることで高い水平剛性を獲得するとともに、内部からの見た目を軽快にし美しい連続感を作ることができる。
 下／低く深く持ち出された梁で彫りの深い表情をつくり、来客を招き入れる雰囲気醸し出す。大工の伝統的な継手を用いた県産杉材の軒桁とスチール製の独立柱を組み合わせた伝統とモダンの演出。

本プロジェクトでは県産木材だけでなく、他の県産材料や技術を多く取り入れている。県産木材と合わせることで富山の魅力を発信できる住まいに仕上がったといえるのではないだろうか。
 上／悠久紙（五箇山産楮100%の手漉き和紙）と城端しけ絹ふすま紙を組み合わせた建具。
 中／木製サッシと太鼓貼り障子で仕上げた窓際。
 下／縁側テラスで内外の境界を感じさせるステンレス製鎖樋。



自然豊かな丘陵に建つ、深い軒とデッキテラスが目を引くどこか懐かしい外観。軒下の外装は施主自ら塗装してもらうことで愛着が生まれ、完成後も自分たちでメンテナンスしてもらいながら末永く木の良さを味わってもらうことができる。

優秀賞 つなぐ家



所在地 富山市
建築主 個人
設計 株式会社WARMTH坂口工務店 坂口 智志
施工 株式会社WARMTH坂口工務店

【建築概要】

用途 住宅
構造 木造軸組工法 2階建
延床面積 181.71㎡
木材使用量 43.49㎡ (県産材12.44㎡)

左上／梁現しの勾配天井を活かしたロフト。天井を張らないことで高さが確保でき、スペースの有効活用が可能に。
 上／LDK。化粧現し天井、登り梁が特徴的。年月とともに増していく木の味わい深さが想像される。
 下／スタンドグラス等はガラス作家である施主とのコラボレーション。

ガラス作家である施主の作業場と住居を一体化しながらも、仕事とプライベート空間の両立を考慮した作品です。階高さを抑え一見平屋に見えるデザインは、外装にふんだんに使用された県産材と調和し周囲の景観に溶け込んだ落ち着いたデザインです。県産材を使用することで暗くなりがちな内装は壁に白色を採用することでバランスが取れ、最優秀賞とは対極的に当世風のカジュアルな空間を演出しています。工事単価もよく抑えられており、モデル的にも評価できることなどから優秀賞といたしました。



リビングのポイントとなる斜めのふかし壁と造作の天板。富山の木、一枚物の木目が力強い。木材屋が避けた節材をあえて現しに使用し自然感を出している。

優秀賞 中島のいえ



左上／部分的に柱面に合わせた一面板張りのデザインで空間を特徴づけている。
上／外観。古い住宅地と調和しながらも明るく爽やかな色彩。
下／南向きに軒を大きく梁だたせた登り梁。リズムカルで美しい架構を演出。

所在地 富山市
建築主 個人
設計 富田 愛子
施工 五十嵐建設 株式会社

【建築概要】

用途 住宅
構造 木造軸組工法 2階建
延床面積 115.72㎡
木材使用量 27.16㎡ (県産材10.44㎡)

外観からも木造とわかる快活な配色の住宅で、住宅が密集した地域の中にあっても周囲の景観と調和しています。35坪という限られた敷地内でありながらも木材がパーンと目に入る内観で、天井を高く組み上げ母屋と登り梁の架構が見えるダイナミックな空間構成が見事な作品です。使用する構造材は無節や上小節などを安易に使わずすべて一等材とし、設計者・木材事業者・大工関係者らと選木し使用箇所を選定することで施主の負担を減らすと同時に、県産材の活用についてもよく考えられていることも評価でき、優秀賞といたしました。



県産杉をふんだんに使用したLDK。杉の木を活かし、施主の使いやすさを意識した。杉のフローリングは柔らかく脚触りも良い反面、傷がつきやすいので敬遠されがちだが、傷も我が家の味となるよう、経年変化を楽しんでもらっている。

特別賞 吉城寺の家



左上／LDKの造作家具（ベンチ）。杉をふんだんに使いながらも上品な空間を演出。
上／外観。
下／施工途中。主要構造は鉄骨だが、内部構造材と下地材、内装に県産材を使用し温かい空間に仕上がっている。

所在地 黒部市
建築主 個人
設計 建築設計室ラフォーム 中やよい
施工 有限会社 田中組

【建築概要】

用途 住宅
構造 鉄骨造 2階建
延床面積 279.9㎡
木材使用量 16.70㎡（県産材16.70㎡）

鉄骨造であることを想像させない木質内装であり、3世代が快適に暮らせることを意識したリフォーム物件です。LDKの構成が非常に美しく、また杉材のみとは思わせない柔らかく上品な空間が魅力的です。リフォームとしては木材をたくさん使用しており、外観に木材がないことが惜しく感じられるほど見事な作品です。鉄骨造にあえて木材を使う、使いたいというポリシーが感じられ、また県産材使用率も高く優良なリフォーム事例といえることから特別賞といたしました。

非住宅部門

最優秀賞	魚津市立星の杜小学校	9
優秀賞	音沢交流センター	11
特別賞	ECOYA (エコヤ)	12
特別賞	チューモク株式会社 プレカット事業部 木造作業倉庫	13



ボリューム感を抑えるために各階毎に小庇を四周廻し、水平基調の立面構成としている。小庇は上階延焼防止、日射遮蔽、メンテナンスバルコニー、外壁汚染防止等の多機能役割を担う。

最優秀賞（富山県知事賞） 魚津市立星の杜小学校

所在地	魚津市住吉
建築主	魚津市（魚津市教育委員会）
設計	東畑・鈴木設計共同体 株式会社 東畑建築事務所 久保 久志 株式会社 鈴木一級建築士事務所 江端 雄也
施工	山形建鐵・東城・朝野工業JV、千田建設 （代表企業）山形建鐵 株式会社

【建築概要】

用途	学校等施設
構造	木造軸組工法 3階建
延床面積	4,950.09㎡
木材使用量	1,846㎡（県産材1,296㎡）

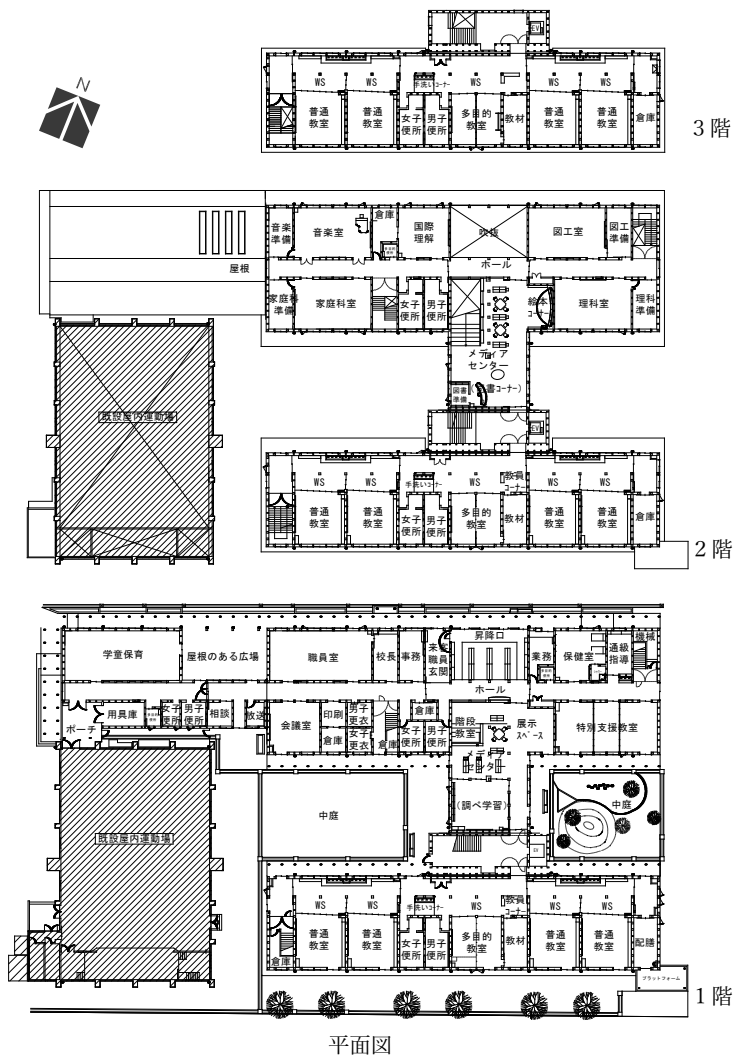


木育プログラムとして毎年外壁塗装を実施し建物の維持管理を行う。子どもたちや地域の人たちで行うことで学校への愛着を育む。

防耐火・木構造・音環境・温熱環境・木材調達・木育など様々な分野の専門家と協働して実現した、全国初（平成27年度法改正後の一時間準耐火構造）のオール木造3階建て校舎です。県産材を大量に使用するにあたって、設計段階から木材関係事業者と木材調達検討会を開くなど、綿密な打合せを重ねて実現した点について高く評価されました。また仕上げ材だけでなく構造材にも県産材を現しで使用し、木造校舎としての魅力を最大限引き出している点や、子どもたちや地域の人たちで行う外装塗装を通じた木育プログラムについても高く評価されました。富山県を代表する木造建築物にふさわしいと判断され、最優秀賞といたしました。



普通教室廊下からの風景。地域材を有効活用するため、木材断面を最小限に抑える方法として、燃えしろ設計とする構造躯体は最上階の小屋組みや見せ場となる独立柱のみに限定し、その他は石膏ボードによる防火被覆。床は魚津市産杉板WPC加工フローリング。



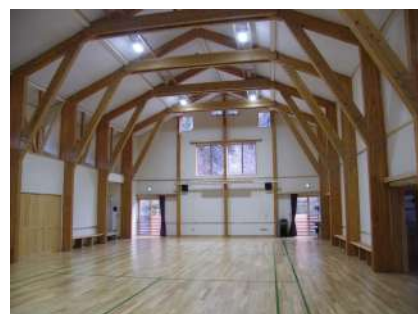
上／普通教室廊下の施工風景。柱・仕口は在来ブレイクにより加工可能な形状とし加工手間を減らした。耐力壁においては工場パネル化、金物は極力木造住宅用にするなど、コスト面への配慮もなされている。県内の事情を熟知した設計・施工といえる。

下／メディアセンターから覗く階段教室。活動成果の発表や映像鑑賞、学外講師の講演、職員研修など、様々な学習方法に対応した階段状のプレゼンテーションスペース。



施設外観。明るい彩色の建物に、雁木によって入り口に誘導される。外壁は県産杉の縦張り。屋根は雪下ろし不要な落雪型とし、敷地の広さを活かし地上で機械処理できるようにするなどの配慮がみられる。

優秀賞 音沢交流センター



所在地 黒部市宇奈月町音澤
建築主 黒部市
設計 株式会社 小倉建築設計事務所
施工 株式会社 音沢土建

【建築概要】

用途 研修・多目的施設
構造 木造軸組工法 1階建
延床面積 492.13㎡
木材使用量 225.3㎥ (県産材124.69㎥)

左上／建て方風景。県産材の接着重ね梁。氷見で製材され、長野県で接着、愛知県で加工され音沢に到着。
 上／体育館内部。接着重ね梁により10.91mのスパンを実現。
 下／玄関ホール。天井仕上げ材、化粧梁は県産杉。天窓が内装を優しく照らす。

シンプルな外観でありながら、木造と分かりやすくアピール力の高いデザインの建築物です。ホールの構造には流通材を接着して大スパンを実現する接着重ね梁を採用しており、県産材の利用促進に貢献する手法であることも評価できます。外装に使用された木材は軒を深くすることで雨がかりを防ぎ劣化対策がきちんと取られており、また内装や雁木の使い方などの評価も高く、木材活用の要所を堅実に抑えた造りであることから、優秀賞といたしました。



南北には大きな開口、東西に背の低い開口を持ち、どんな場所にも馴染むよう設計されたシンプルな切妻屋根形状の東屋。

特別賞 ECOYA (エコヤ)



所在地 小矢部市清沢
建築主 エコークッド富山 株式会社
設計 水野建築研究所 水野 敦
 水野 桂子
施工 株式会社長岡建築

【建築概要】

用途 東屋
構造 木造軸組工法 1階建
延床面積 8.64㎡
木材使用量 3.59㎡ (県産材3.59㎡)

左上 / 外装材は表面の仕上がりと防腐剤の浸透性を考慮し杉板の荒材を使用。木材腐朽の弱点となる切断面は、押縁で留めることでカバーしている。
 上・下 / 内部壁は杉の風合いを感じてもらうため対紫外線ガラス塗料を塗布。利用者の体格に合わせた2種類のベンチと、屋根の太陽光発電パネルから供給される充電スペース。

小さいがゆえに様々なシーンでの使用を狙い汎用性と多様性を持たせた、身近に木造建築の良さを感じさせる作品です。身近な東屋という存在に太陽光パネルによる発電機能等付加価値を加え、また増築工事などで確認申請が不要な大きさにすることで個人宅等への導入のしやすさも考慮されています。県産材使用率を高めるために県内で広く流通している寸法をベースに計画するなどの工夫もされています。取組みの新しさと、県産材の新たな活用方法としての期待から、特別賞に選ばれました。



左／倉庫内。南砺市産材杉製材品を中心に梁、母屋、トラス組みを構成。トラス構造により、内部に柱のない大空間が生まれる。内装仕上げを省きシンプルな切妻屋根にし建設コストにも配慮した設計。

下／施工までの工程。
 (上) 伐採現場
 (中) 製材風景
 (下) 上棟風景。

流通量の少ない5、6m材を中心に、地元南砺市から調達。川下から川上までの情報共有と打合せを綿密におこない、資源・時間的にも無駄のない施工を実現。トラスは予め組んでおき、レッカーでつり上げて組み付ける。

特別賞

チューモク株式会社プレカット事業部 木造作業倉庫



所在地	南砺市前田
建築主	チューモク株式会社
設計	チューモク株式会社一級建築士事務所 上田 未樹
施工	チューモク株式会社 建築事業部

【建築概要】

用途	倉庫
構造	木造軸組工法 1階建
延床面積	235.6㎡
木材使用量	34.4㎡ (県産材25.18㎡)

トラス梁が目を引く、シンプルな外観の建築コスト削減を意識した木造倉庫です。しかしトラスや建築コスト以上に目を引くのは竣工までの物語です。様々な事業部を抱える企業の強みを活かして伐採現場～建築施工まで必要部材の情報共有を行うことでロス無くし、また樹皮は堆肥、端材は木材チップにするなど地域の木材を一企業で歩留まりよく活用し、今後の富山県のサプライチェーンの参考となる取組みといえます。県産材の利用を一番に考え、川上から川下までの一貫した取組みが評価され、特別賞に選ばれました。

令和元年度受賞作品

住宅部門



最優秀賞

住吉のいえ

設計 計画創造 ピュア建築士事務所
施工 有限会社 ピュア・ハウジング



優秀賞

T邸

設計 株式会社WARMTH 坂口工務店
施工 株式会社WARMTH 坂口工務店



優秀賞

太郎丸の家

設計 一級建築士事務所
株式会社フラグシップ
施工 株式会社 フラグシップ



特別賞

H邸

設計 宮内 彰
施工 有限会社宮内工務店

非住宅部門



優秀賞

滑川市児童館

建築主 滑川市
設計 株式会社 押田建築設計事務所
施工 林建設株式会社



優秀賞

能作 新社屋・新工場

建築主 株式会社 能作
設計 広谷純弘+石田有作/
アーキヴィジョン広谷スタジオ
施工 塩谷建設株式会社



優秀賞

魚津市西布施地域活性化センター

建築主 魚津市
設計 魚津市産業建設部都市計画課
施工 株式会社 関口組



令和2年度
とやま県産材
建築物コンクール

[主催] 富山県

[委託] 富山県木材組合連合会

令和3年3月発行

発行／富山県 農林水産部 森林政策課